

泉の自治だより

題字 河合 哲心

No. 88

発行所 泉町連合区
発行責任者 連合区会長 河合 哲心
事務局 (泉公民館内)
土岐市泉中寮町 TEL 55-3653
編集部長 深谷 真



絵手紙「おへん」
教室 足立恵子

自治会活動について

泉町連合区会長 河合 哲心

去る十一月五日に各務原市で「岐阜県自治連絡協議会研修大会」が催され、記念講演で「阪神・淡路大震災―その体験を語る―」と題して、語り部である谷川三郎氏の講演を聞ききました。谷川氏は当時、芦屋市の市職員であって、阪神・淡路大震災のときの芦屋市の状況を目の当たりに体験し、この惨事を風化させることなく後世に語り継ぎ、災害対策を考えようと自分の反省も含め語られました。

その中で印象に残ったのは、七割の家屋が全半壊した芦屋市で、家屋の下敷きになった被災者の中で救助された四五〇人のうち三分の二は役所の救助隊や消防団の方やかけつけた自衛隊の隊員ではなく、地元地域の人たちの活動で命を救われたとの報告でありました。地域の人たちが平常時から隣近所の人たちの家族構成や生活状況などを把握しており、救助が手早くなされた。しかも生存者救助の確率は九割以上が震災翌日迄であって、

二日目以降は生存者が極めて少なかったとのことでした。従って、地域の事情を知っている隣保班等のすばい救助活動が功を奏したのです。また、十月二十五日に東京で「防犯ボランティアアフォーラム二〇〇八」が開催され、多治見警察署からの要請で、斎藤総務とともに出席しました。五の町の発表があり、近隣の発表も「自分達の街は自分たちで守る」というスローガンの元に自治会組織の防犯ボランティア活動を、犯罪抑製の啓発活動を進めている力強い発表でした。

度々、この紙面で書きましたが、防災・防犯の面で日頃から地域の連携を密にしていることが大切だと二つの事例から教えられました。個人の自由の尊重、個人の情報の保護の時代ではありませんが、自治会の絆が「いざ」というときに役立つことと肝に銘じて、今後の自治会活動に邁進したいと思います。

泉町の次なる課題

岐阜県議会議員 矢島 成剛

今年の正月は、原油高と株価下落の二ユースで始まりました。市民生活に直結するガソリン価格が180円/ℓを越えて、この先どうなることかと思っております。現在では120円に下がって、経済指標となる株価はその後持ち直して



中央橋

現在の課題

さて県道および河川川に関係する課題は、①駅前の新土岐津線の拡幅、②土岐可児線(五斗町町地内)拡幅、③土岐可児線(天王池付近)拡幅、④伊野川改修があります。④伊野川については、地権者の皆様や地元区長さんをはじめとした役員の皆様のご協力により、スタートラインからすでにゴールへ向かって走り始めることができております。今後ともご協力をお願い致します。

小泉内閣の改革とは名ばかりの三位一体改革のあと、地方自治体への交付税が大幅に減額されました。県市の財政が苦しい中でこれらの事業をどうやって実行していくのか？やはり、国からの支援を受ける外ないという事で国の補助メニューを貰うことにしました。

①については来年度から土岐市が国の「街づくり交付金」をうけ、用地買収にかかる予定。用地買収に三年、工事二年の西の踏切から西の40メートルについては、再来年度から県の事業として着手の予定。②の道路拡幅は平成11年より県の単独事業として、これまで

ました。今年より国の交付金事業に格上げしてもらいました。今年度は用地買収のみであります。

次なる課題

国家百年の大計ということばがありますが、効率のよい街づくりが必要。泉町で次にやるべきことは何でしょうか？

①土岐市駅前中央道の道路拡幅、②土岐川に架かる橋、三共橋、土岐津橋、中央橋の架け替えが思いつきます。そのうち県道に架かる中央橋について調べてみました。中央橋は昭和7年に建設され、現役の橋としては、県内でも指折りの古い橋となりました。昭和40年に両側3mの歩道が付けられていたのが、車道は5.5m見えますが、車道は5.5m見えず、安全性が確保出来ません。安全性からいえば耐震補強がされていすので今のところ問題はありませんが、昨年の検査では下部工にひびわれ剥離、鉄筋露出が認められました。また中央橋の架け替えには、洪水対策の観点から、国土交通省の堤防の嵩上げの問題があります。すでに工事が済んでおります永久橋辺りの工事で分かれますように、堤防を上げなければなりません。堤防が上がると、橋が1.2m上がることにすると、橋から50mほどの家に影響が及ぶことが考えられます。

しかしながら、国や県では中央橋の架け替えについてはまだ何も考えておりません。多額の費用がかかることから県のみでは対応が困難でありますので、国交省にも掛け合

して取り組んでまいりたいと思っております。

21世紀を生きぬく子供たちのためのまちづくりを!!

泉議員団長 布施 素子

泉町選出四人の議員に対し、日頃のご支援に深く感謝致します。平成十九年四月の選挙で泉町民にとって待望の大野市政が誕生し、早や一年六ヶ月、同時に市議会議員は十八人体勢となり、泉町からは四人となつてまいりました。この四人で泉町の様々な課題については決して「ブレ」ない力を合わせて、泉町の為、ひいては土岐市の為に働くことを再確認した所です。

現在土岐市の財政状況は広報や様々な情報から承知とは思いますが、いくつかの財政指標の算出方法が変わり、実質公債費比率が十七年から三ヶ年平均十三・八%となり、国による早期健全化基準を下回ってはいませんが、厳しい状況であることに変わりはありません。

そんななか、泉町のこの課題である駅周辺の整備のうち、まず新土岐津線土岐市駅から西二六〇mを二十一年度より着手する見通しがたつてまいりました。

敬老会について

泉町連合区 女性部部長 小田川ゆみ子

九月十五日、セラトピア土岐にて敬老会が行われ、三六七名の方に出席して頂きました。

女性部は六月に開催の決定を受け準備に入りました。開催まですべて女性部が引き受けて行わなければならないので、打ち合わせを何度も行いました。大変たという事は聞いていたものの、携わって初めて分かることでした。決める事が沢山あるなかで、お弁当は持ち帰りとし、アトラクションはプロの方をお願いしました。前年度までとは違う事を知って頂くために、招待状の中にも一枚案内文を入れました。当日、セラトピアが始まるまでバックミュージックとして三十年代の盆踊り「美濃焼音頭」を流しました。その頃を懐かしんでもらえたかなあと

思います。女性部七四名が、敬老会を成功させるために力を合わせて取り組みました。不安も多々ありましたが、みんなの細やかな配慮、チームワークで、無事終える事ができました。



公民館祭りの日用品バザーの収益金が、二十七万八千九百六十円ありました。

事故多発ワーストポイント

製作「泉の自治だより」編集部



協力 土岐市役所 都市計画課
多治見警察 土岐派出所

泉 町 連 合 区 要 望 事 項

| 事業名 | 番号 | 要 望 事 項 | 継続 | 担当課 | 回 答 |
|-------|----|---|----|-------|---|
| 施設の建設 | 1 | 泉児童センター・泉子育て支援センターの建設促進を要望します。 | | 児 童 課 | ご指摘のように、放課後教室の実施により土岐市の児童館、児童センターが担っていた留守家庭児童対策という役割は希薄になってきました。現在では、児童館、児童センターは主に未就園・未就学児童の親子同士の仲間作りや子育て相談の場として、地域を越えて多くの来館者をお迎えし、孤独な子育てをしているお母さん方に喜んでいただいております。また、小中学生には安心安全な遊び場として、児童館行事へのボランティア活動の場としてその健全な育成に務めているところです。 子育て支援センターは、平成20年度現在、つまぎ保育園とみつば保育園に設置しており、やはりお母さん方の仲間作り支援やベテラン保育士による子育て相談等を行っております。 泉児童センター・泉子育て支援センターを設置し、子育て支援の環境づくりをというご要望は、少子化と子育て不安の現代において非常に重要なことと認識しておりますが、現在のところ未だ具体的な計画は至っておりません。 |
| | 2 | 泉公民館の移転建設を要望します。 | ○ | 生涯学習課 | 平成19年11月27日の泉公民館建設委員会と市長との協議内容をご理解願いたいと思います。 |
| 道路の建設 | 1 | 国道19号線・池の上交差点から中央自動車道新丸石間の道路建設 | ○ | 土 木 課 | 地図混乱地域であり、法務局で字絵図が閉鎖されています。道路予定地周辺地権者の同意が得られなければ困難です。 |
| 道路改良 | 1 | 都市計画道路新土岐津線の予算化・説明会の開催 | ○ | 中心市街地 | 平成21年度に事業着手の予定です。今後におきましても事業を成功させるためご理解ご協力をお願いします。 |
| | 2 | 都市計画道路（3・5・4大富・高山線）の改良 | ○ | 都市計画課 | 都市計画道路整備は市街地での事業であるため莫大な事業費を必要とします。現在、新土岐津線拡張事業を進めているなかで当該路線整備の必要性は認識しておりますが、2路線の整備は財政的にも困難であり、当面は県道の部分改修等に対応したいと考えておりますのでご理解います。 |
| | 3 | 都市計画道路新土岐津線及び土岐市停車場線の土岐市駅から中央小橋までの道路改良の促進 | ○ | 都市計画課 | 新土岐津線の整備後、駅南交差点の改良と併せ中央小橋までの整備は必要と考えています。いずれにしても大事業であるため、市が整備する場合は新土岐津線事業の後に対応したいと考えています。（事業 中心市街地整備推進室） |
| | 4 | 土岐・可児線の国道19号線交差点から天王池間の道路改良事業の促進 | ○ | 監理用地課 | 今年度から用地買収を実施する予定です。 |
| | 5 | 土岐市駅北広場の拡張及び大型バス発着場の設置 | ○ | 都市計画課 | 土岐市駅周辺地区の都市機能の拡充を図る事業として、駅北口地区の有効利用が必要と認識しておりますが、現状は新土岐津線拡張事業や駅前（南口）広場の整備を優先し、順次検討していきたいと思っております。 |
| | 6 | 土岐市駅前広場と駅北広場地下道路の安全確保 | ○ | 土 木 課 | 防犯装置の運用方法の問題で、現在のところ対応しかねます。 |
| | 7 | 土岐川永久橋詰堤防道路の拡幅による一方通行の解消 | ○ | 土 木 課 | H20年度より設計実施しています。 |
| 河川改修 | 1 | 伊野川・仲森池下流の河川改修促進 | ○ | 監理用地課 | 仲森橋まで施工する予定です。 |
| | 2 | 定林寺川の早期土砂浚渫及び護岸整備 | ○ | 監理用地課 | 県に確認したところ、「河床を掘削すると既設護岸に影響があるということで、河道を川の中央になるよう低水路形状に掘削及び河床整正を平成18年度に実施した。」とのこと。今後他の箇所についても、調査をするよう要望します。 |
| そ の 他 | 1 | 都市計画道路（県道久尻・河合線）の見直しと変更 | ○ | 都市計画課 | 土地区画整理事業に関しましては、平成16・17年度と地元説明会を行い、事業の必要性について地元の意見を集約いただいている状況です。今後、事業の必要性について地元協議を進めたいと思っております。 |
| | 2 | 元東濃朝鮮初中級学校跡地の購入と解体・撤去 | ○ | 総 務 課 | 地域の安全・安心という観点から市は平成18年度より廃屋等の調査をしておりますが、その中で元東濃朝鮮初中級学校跡地について数回にわたり所有者に対し適切な処置及び管理についてお願いをいたしました。当初からその都度対処をいただいておりますが、基本的には旧校舎の解体・地主と跡地利用については所有者に責任があり、市といたしましては、今後につきましても引き続き早期解決すべく対処についてのお願いをしていくものです。 |